



神奈川県立田奈高等学校 令和7年度第1回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和7年7月1日（火） 14:30～15:30

2 会場

神奈川県立田奈高等学校 応接室

3 出席者

＜委員＞

宮本みち子（放送大学客員教授）、浜崎美保（元帝京平成大学教授）、市川宰（公益社団緑法人会事務局長）、石井正宏（NPO法人パノラマ代表理事）、山根淳一（横浜市立恩田小学校校長）、井澤純（神奈川県立田奈高等学校校長）

＜本校職員＞

川島秀生（副校長）、早坂直子（事務長）

4 欠席者

＜委員＞

小林正利（日本体育大学教授）

5 委員委嘱

会長選出

⇒宮本様に依頼

会長挨拶

運営協議会はみなで運営するものでよろしくお願いします。

校長挨拶

教員採用試験ポスターに本校卒業生の作品が採用された。おとなしい子ですが、才能豊かな子で、他にもそんな子はたくさんいます。本校の学校運営にあたり、緑法人会には朝食提供、マナー講習会、職場体験などいろいろ協力していただいています。また、パノラマ主催のびっかりカフェは新たに県の事業に指定されています。とは言え持ち出しもありますでしょうし本当に様々、生徒のために尽くしていただいています。恩田小学校にもお世話になっています。

本校の現状について

(井澤校長)

《生徒の主体的な活動》

生徒総会で生徒からアイスを販売してほしいとの要望があり、臨時生徒総会に於いて、ゴミの管理をすることを条件に決議され、実現することとなった。

部活動の数値目標 10%に設定し、働きかける。

進路未決定者が 3 年前には 25%、2 年前には 20%、昨年は 10%と減少してきている。

今年度は 100%の進路決定を目指していきたい。

委員から

(恩田小学校校長 山根様)

体育祭の大縄跳び競技を見ていて、引っかかってしまう生徒がいても、誰も野次を飛ばしたりすることがなかった。仲間意識が強いのか、生徒が安心して活動していると感じた。小学校の運動会向け、生徒に来ていただいて、児童と共有する時間がもてればうれしいです。

本年度は当日だけでなく、事前に顔合わせのようなものを実施して欲しい。

(パノラマ理事 石井様)

クリエイティブスクールなので福祉的に問題のある生徒が多くおり、そういう子が進学や就職している。現時点でやめている子も多いが、そういう子が社会的に埋もれても気付かない現状もあり、コンタクトを新たに取るのは難しく、在学中から関わっていくことが大切で課題である。

外部の組織は責任を持った支援が必要。来年から生徒数が増えていくと課題が増える。

令和 6 年度学校評価報告書実施結果

令和 7 年度学校評価報告書目標設定

副校長より

令和 8 年度再編・統合に向けた取り組み状況について

・学校目標及びスクールポリシー (案)

選択科目の系列は入学時に選ぶのか？

⇒まるっきりフリーに選ぶわけではなく、選択肢が提示されその中から選ぶようにする。年次に応じて選んでいく。

・広報

- ・今年度は文化祭が 12 月、学校説明会は 4 回計画している
- ・夏休み中に、教職員による中学校訪問を行う。百十数校を予定している。

・校章・校歌

マチコミ等で公募している。その後横浜美術大学に協力を仰ぎ、投票により 10 月までに校章を決めたい。

(制服の校章、ボタンにもデザインされたものを使用できる期限)

・校歌はプロジェクトチームを中心に検討中。

(入学式には歌えるダイミングで 3 月までには決めたい。)

・その他

来年は 47 期生が青葉総合 1 期生となる。

来年どんな子が入学してくるのか?

(市川様)

ここ 3, 4 年雰囲気がかわり、活気も出てきた。学校の安心安全を考えると外部との関わりは難しい面を含んでいるので、きちんと取り組む必要がある。気を抜かないで取り組んでほしい。

(浜崎様)

授業を見ていて、生徒が素直でまっすぐでむしろ不安もある。困難な事があってもサイン出せるのか心配。止まり木の使用に許可が必要となっていたが、ヘルプを出せる場所ではなくなっているのではないか?

(宮本様)

サポステのヒアリングより ~人手不足からサポステに来ている人の就職が次々決まっている。結果困難度の高い人たちが残る。青春を経験していない人が増えている。障害を受け入れることが難しく時間がかかる。助けてと言えない子が増えている。

⇒いろいろな困難があるが、生徒主役でコミュニケーションをとりながらやっていきます。

その他

次回は 12 月 6 日 文化祭の日となる。